

学校関係者評価

- ※ 評価Ⅲの基準
- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 4:よく取り組んでおり、成果が大きい | 3:熱心に取り組んでおり、今後の期待できる |
| 2:取り組んでいるが成果が十分でない | 1:取組が不十分である |

学校関係者意見等	評価Ⅲ
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む</p> <p>・不登校生徒の個性に対応する教員の努力が認められる。・教員の研修や生徒へのドリル学習等を熱心に行っているため、今後の学力向上に期待したい。</p> <p>・部活動時間が次年度から少なくなることに不安を感じる。</p> <p>・学力向上、生活指導、様々な行事をととしての取組をこれからも期待しています。</p>	3
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <p>・不登校やいじめなどまだまだ課題があるという印象です。・「アセス」の実施は、教師にとっても良い取組である。</p> <p>・心の教育は、重要な部分なので、今後教科化される道徳に一層励んで欲しい。</p> <p>・キャリア教育については、現在・未来においていろいろな場面に遭遇した時に対処できる能力を養う取組で良い。</p> <p>・自己肯定・自己決定ができる生徒が確実に増えていることがとてもうれしい。・「道徳教育」の充実をよろしく願います。</p>	3
<p>3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <p>・長い時間をかけて子どもたちの立場に立った仕掛けはすごいです。この3年間多方面にいろいろな仕掛けができたと考えている。</p> <p>・「小田まつり」に生徒がボランティアとして参加できたことは評価できる。これを含めて、生徒が活動の活性化を図って欲しい。</p> <p>・地域も高齢化が進んでいるので、生徒たちとの関わりがあるのは、良いことである。</p> <p>・生徒たちを取り巻く社会環境(スマホ・インターネット)等多くの問題を抱えています。家庭、学校、地域の連携が、ますます</p>	3
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <p>・登下校の際、年々落ち着いて歩いている。校舎も美しく使用している。昨年の地震や台風などで生徒も自然災害の怖さ知ったことと思う。今の気持ちを忘れないうちにいろいろと意識を高めることが大切だと思う。</p> <p>・新しい校舎での学習を肌で感じている教員・生徒は十分、安全・防災の観念を身につけている。避難訓練等でより以上の取組をしていただきたい。</p>	3.5
<p>■教育目標</p> <p>・タブレットなどの導入による有効な利用ができるよう努力していただきたい。</p> <p>・生徒の実態に合わせた教育目標を策定したことは、十分に評価できる。管理職、教員がその目標達成に向け、今以上の教育効果の向上を図って欲しい。</p>	3.5
<p>■研究テーマ</p> <p>・目的意識を持ち、意欲を高めることは大事である。今後も「継続は力なり」、モチベーションを保てる仕掛けに期待したい。</p> <p>・これからもどんな仕掛けをするのか楽しみです。</p> <p>・新しい教育内容・機器の活用・方式を実践していかなければならない学校の状況に適した目標であると思われる。</p>	3.5
■	
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B